

# 「世界湖沼の日」に係る 令和7年度の取組について

# 「世界湖沼の日」に係る令和7年度の取組

## ① “過去”を輝かせる

- 先人たちのびわ湖への想いや情熱、行動に改めて光を当て蘇らせる。

## ② “いま”を輝かせる

- MLGsの達成に向けた活動<sup>①</sup>を充実・強化する。
- 気候変動の影響等、従来の取組だけでは解決できない湖沼環境の課題に挑戦する。

## ③ “未来”を“世界”を輝かせる

- 過去を受け継ぎ、自らが学びを深め成長し、行動する若者を育成する。
- 世界に発信・貢献し、世界から見た滋賀・びわ湖の魅力・価値を更に高める。

8/27 世界湖沼の日  
制定記念イベント

2月  
共創フォーラム

4

みんなで対話し、共感を広げ、未来を共創する場

(新)「世界湖沼の日」制定記念イベント (R7年8月27日)

(新)「(仮称)世界湖沼の日 共創フォーラム」 (R8年2月)

R8年～



(ポストSDGsを視野に)  
多様な主体とともにMLGsを議論

3

“未来”を“世界”を輝かせる

(新)「世界湖沼の日」次世代育成 (世界湖沼会議への高校生参加/ワークショップなど)

(新)ニカラグア版うみのこの普及促進 ※JICA連携事業

(新)グローバルサウスビジネス共創事業 ※商労部

(新)世界湖沼会議への参加・発信 (セッション開催等) / 関西万博での発信 (ブース出展等)

(新)国際首長フォーラムへの参加・発信 (スピーチ等)

2

“いま”を輝かせる

(拡)びわ活重点期間 (びわ湖の日：7/1～山の日：8/11)を「世界湖沼の日(8/27)」まで延長

(新)「世界湖沼の日2025」共創チャレンジ (世界湖沼の日制定を記念し、新たなつながりや県庁の有する既存ネットワークを活かし、企業・団体等とのワクワクする活動等とのコラボ)

(新)「いのちを育む琵琶湖を目指す検討会」 (気候変動影響による湖沼環境課題への挑戦)

1

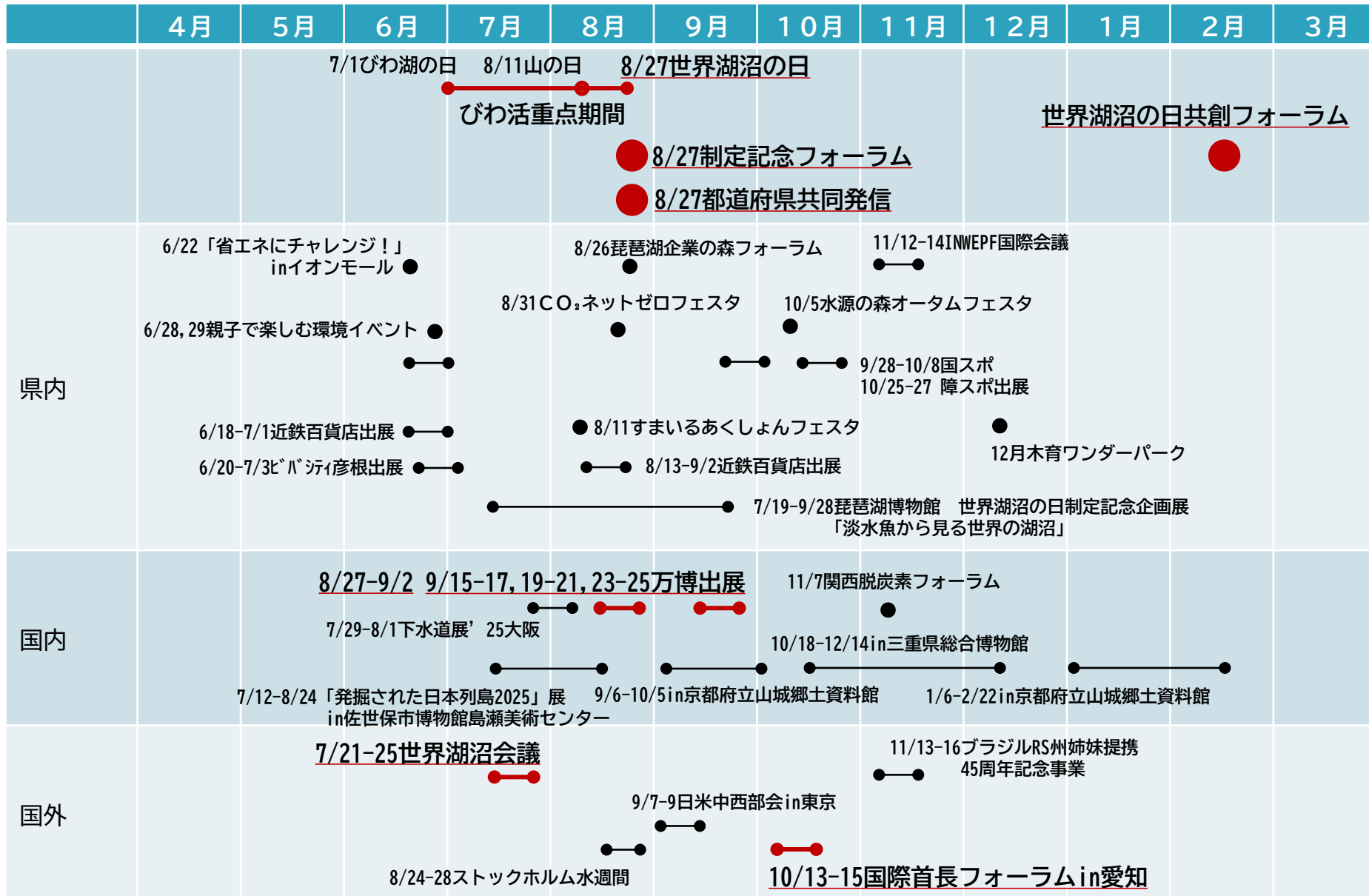
“過去”を輝かせる

(新)琵琶湖保全再生レガシー継承 (高校生等が先人たちの想いや情熱、行動等を取材/琵琶湖保全再生のこれまでの歩みのアーカイブ化/公開等)

(新)琵琶湖博物館での「世界湖沼の日」記念事業

多様な主体との連携  
部局横断の取組

## 「世界湖沼の日」に係る主な取組



※ 上表のほか、学校や団体での催しでの出前講座・講義等を随時実施。3

# 第20回世界湖沼会議 ～「世界湖沼の日」制定後、初の開催～



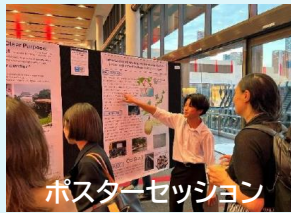
- テーマ:湖沼の声:統合的流域管理を目指して  
(LAKES AS SENTINELS for Integrated River Basin Management)
- 会 期:2025年7月21日(月)～7月25日(金)
- 開催地:オーストラリア・ブリスベン
- 主 催:グリフィス大学・(公財)国際湖沼環境委員会
- 参加国:27か国、322人参加
- 県関連参加者:岸本副知事、目片県議会議長、県内環境保全団体、  
小中高生、大学研究者、企業
- 課 題:参加者数の増や参加者層の多様化が必要

## ① 初の高校生派遣

- ✓ 県内高等学校から3名を派遣
- ✓ ユースセッション、ポスターセッションの場で高校生自身で取り組む湖沼環境保全の活動を発表



ユースセッション



ポスターセッション



ポスターセッション

【現地派遣高校生の感想】

<彦根東高校>

- ◆ 私の知らないことがたくさん発表されており、より多くの高校生に知ってもらうことで、若い世代の湖沼への関心が高まるのではないかと感じた。

<膳所高校>

- ◆ ポスターセッションでの質疑応答や意見交換が楽しかった。分科会や基調講演で様々な分野の専門家の発表を拝聴したのは良い経験になった。

<立命館守山高校>

- ◆ 各国のユースと交流した際は、同年代であるにも関わらず本格的なプロジェクト・研究を進めており、私も「いま」から何かを変えたいと思った。



スペシャルセッション

## ② (滋賀県主催)姉妹友好州省等との「世界湖沼の日」スペシャルセッション

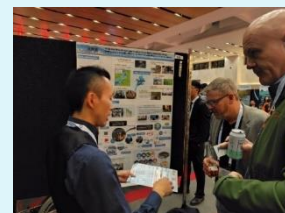
- ✓ 各国・地域での湖沼環境保全の先進事例共有
- ✓ それぞれの地域で「世界湖沼の日」制定を契機に、より一層保全活動に連携して取り組むことについて討論



分科会発表

## ③ 分科会、国際コロキウムでの滋賀県の取組の発信

- ✓ 琵琶湖の保全・再生やMLGsの取組、世界農業遺産「琵琶湖システム」について発信
- ✓ 海外の研究者や国際機関の関係者との新たなつながりが創出



ポスターセッション

## ④ 自治体連携によるポスターセッション

- ✓ 湖沼を有する国内の他自治体(秋田県、茨城県、長野県、鳥取県および島根県)と連携し、各地での湖沼保全の取組を発信
- ✓ 日本の自治体の取組を世界に発信し、「世界湖沼の日」を契機とした湖沼保全の機運醸成に寄与

## ■ 次回の会議(第21回世界湖沼会議)



- 期間:令和9年(2027年)7月19日～23日
- 場所:タンザニア・ダルエスサラーム
- 主催:タンザニア国立水研究所、  
(公財)国際湖沼環境委員会

# 「世界湖沼の日」制定記念フォーラム

■ 開催日:令和7年8月27日(水)

■ 場 所:滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール 中ホール (オンライン配信)

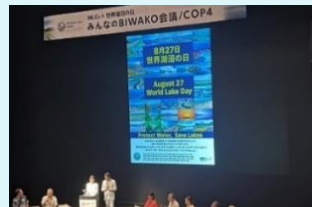
■ 参加者:国・自治体関係者、企業、団体、県民等 約370人



ディスカッションの様子

## ① 湖沼保全に係るディスカッション

- ✓ 知事、国定国土交通大臣政務官、勝目環境大臣政務官、大学、企業などの関係者を交えて、ディスカッション。
- ✓ 知事から琵琶湖保全再生法制定10周年を踏まえ、琵琶湖の現状や課題について説明。



47都道府県共同発信

## ② 47都道府県の共同発信

- ✓ 滋賀県が呼びかけ、8月27日に「世界湖沼の日」制定を契機とし、湖沼保全の重要性を訴える共同発信を、47都道府県連携で実施。
- ✓ フォーラムにおいて、知事から共同発信内容について紹介。



高校生の報告

## ③ 世界湖沼会議の報告

- ✓ 7月21日から25日まで開催された世界湖沼会議での世界への発信内容について報告。
- ✓ 現地に派遣した高校生から、発表内容や現地で経験して感じたこと等について報告。



活動報告

## ④ 小・中学生の活動報告

- ✓ 草津市立新堂中学校から暮らしとびわ湖のつながりに関する研究内容を紹介。
- ✓ しがローカルSDGs研究会に参加する子ども達が使い捨て容器削減の取組について報告。



鳥取県・島根県知事  
との中継

## ⑤ 鳥取県・島根県との交流

- ✓ 中海・宍道湖を有する鳥取県・島根県が開催するイベント会場と中継をつなぎ交流。
- ✓ 平井鳥取県知事・丸山島根県知事とディスカッションを実施。

## ■ 現地視察



- ✓ フォーラム後、国定国土交通大臣政務官や勝目環境大臣政務官、知事、議長等が調査船に乗船し、琵琶湖の湖上視察を実施。
- ✓ 水質・モニタリング調査状況や下水道高度処理施設等について確認。
- ✓ 湖上視察後は、伊吹山、カワウ、水草対策について説明し、琵琶湖の保全再生に関して意見交換。

# びわ活重点期間の延長

## ■ びわ活重点期間

- ・「びわ湖の日（7月1日）」～「山の日（8月11日）」を「世界湖沼の日（8月27日）」まで拡大。
- ・琵琶湖を守る、琵琶湖と暮らす、琵琶湖と親しむ、琵琶湖と関わる様々な取組を通じて、琵琶湖の魅力を発信し、琵琶湖と取り巻く環境を保全する意識を醸成。



おもてなし一斉清掃

### 琵琶湖をきれいにする活動

- ✓ おもてなし一斉清掃の実施(7/1)
- ✓ びわ湖・滋賀県を舞台としたアニメ作品「さよならうら」とのコラボレーションの実施
  - ・限定配布物を清掃参加者に提供



びわこルールキッズ釣り大会

### 豊かな琵琶湖を取り戻す活動

- ✓ びわこルールキッズ釣り大会の開催(7/1)
  - ・琵琶湖の外来魚を釣り、在来種を守る釣り大会を開催



講演の様子

### 琵琶湖や暮らしとの関わりを学ぶ活動

- ✓ 第23回生態学琵琶湖賞授賞式、受賞記念講演(6/28)
- ✓ 連続講座・出前講座等



環境イベント



しがモック



記念商品発売

### 琵琶湖にもっと関わる活動

- ✓ 「びわ湖の日」親子で楽しむ環境イベントの開催(6/28、29)
- ✓ 浄化センター夏休み親子見学会(湖南中部 7/23～25)(東北部 7/30、8/5)
- ✓ 学習船「うみのこ」親子体験航海(8/24)
- ✓ 木育施設「しがモック」オープン(8月24日)
- ✓ 琵琶湖企業の森フォーラムの開催(8月26日)
- ✓ ファミリーマート、ローソン、平和堂による「びわ湖の日」記念商品販売
- ✓ 企画展示
  - ・近鉄百貨店草津店(草津市・6/18～7/1、8/13～9/2)
  - ・無印良品彦根店(彦根市・6/20～7/3)
  - ・琵琶湖疏水記念館(京都府・6/30～8/29)
  - ・下水道展'25大阪(大阪府・7/29～8/1)

# 大阪・関西万博への出展



## ① 滋賀魅力体験ウィーク「MLGsウィーク」

◆ 令和7年8月27日(水)～29日(金)

場所:関西パビリオン 多目的エリア

参加人数:約27,900人

- ✓ 琵琶湖版SDGs「Mother Lake Goals」の観点から県ゆかりの団体が日替わりで出展。
- ✓ 琵琶湖を切り口とした展示、ワークショップ、試食・試飲等を通じて、滋賀の魅力に触れる機会を提供。



## ② メディア関係者への情報発信

◆ 令和7年9月15日(祝・月)～17日(水)

場所:メディアセンター 魅力発信スペース

参加人数:約100人

- ✓ 世界湖沼の日の制定・琵琶湖保全の取組について情報発信。
- ✓ 近江の地酒試飲会、世界農業遺産グルメ試食・試飲会などを合わせて実施、滋賀県魅力を発信。



## ③ 国・企業と連携した湖沼保全の機運醸成

◆ 令和7年9月19日(金)～21日(日)

テーマ:琵琶湖から世界へ！～琵琶湖版SDGs「Mother Lake Goals」による持続可能な社会の実現に向けて～

場所:FLV(フューチャーライフヴィレッジ)内「TEAM EXPOパビリオン」

参加人数:約39,600人

◆ 令和7年9月23日(祝・火)～25日(木)

テーマ:健全な水循環に向けた国内外への発信

場所:FLV(フューチャーライフヴィレッジ)内「フューチャーライフエクスペリエンス」

(内閣官房水循環政策本部事務局ブース内)

参加人数:約4,500人

- ✓ ワークショップの開催、「しが環境ビジネス推進ネットワーク」企業と連携し琵琶湖の生態系を表現した水循環型水槽の展示により、琵琶湖の魅力に触れる機会を提供。
- ✓ 世界湖沼の日の制定・湖沼保全の意義・取組について発信。



# その他の世界湖沼の日制定を契機とした取組の発信・連携

## 2025国際首長フォーラム

- 日時：令和7年10月14日(火)～16日(木)
- 場所：愛知県豊田市
- 参加者：首長・自治体関係者、国連機関、Local 2030連合、各国政府(特に途上国)、専門家等 250人程度
- 主催：国連 経済社会局
- 概要：

知事または副知事がMLGsおよび世界湖沼の日を契機とした湖沼保全の取組等について発信予定。

## 琵琶湖博物館

### 「世界湖沼の日」制定記念企画展

- 日時：令和7年7月19日(土)～9月28日(日)
- 場所：滋賀県立琵琶湖博物館 水族企画展示室
- 概要：
  - ・「世界湖沼の日」制定を記念して、世界の湖沼に生息する魚類を展示。
  - ・魚類は人間活動の影響を受けやすい生物であり、在来の魚類が減少する問題が各国で起きていことから、魚類を通して世界の湖沼を知り、環境問題に関心を持つ機会を提供。

## インターナショナル ユース ワークショップ

- 日時：令和7年11月1日(土)
- 場所：米原市役所市民交流エリア コンベンションホール(オンライン併用)
- 参加者：第20回世界湖沼会議派遣高校生、県内高校等に通学する高校生等 40人程度
- 主催：滋賀県
- 概要：
  - ・第20回世界湖沼会議に現地参加した高校生等による参加報告。
  - ・湖沼保全に関わるインドネシアやオーストラリア等の海外ユースとの意見交換。
  - ・世界湖沼会議に現地参加した高校生の経験を他の高校生にも共有するとともに、海外のユースとディスカッションする機会を持つことで、グローバルな視点を持つ次世代リーダーの育成を図る。

